

製品名: α 1b アドレナリン受容体ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe86973**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、 -20°C で保存してください (12 ヶ月有効)。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン (pH 7.4)、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から 12 ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000,IHC 1:200-1:500
分子量	Calculated MW:57 kDa; Observed MW:57 kDa

抗原情報

遺伝子名	alpha 1b Adrenergic Receptor
別名	ADRA1; ALPHA1BAR
遺伝子 ID	147
SwissProt ID	P35368
免疫原	ヒト α 1b アドレナリン受容体の合成ペプチド

背景

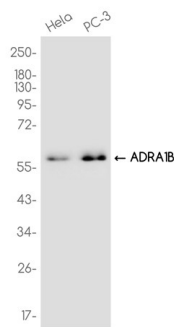
α 1 アドレナリン受容体 (α 1AR) は、G タンパク質共役受容体スーパーファミリーのメンバーです。細胞分裂促進反応を活性化し、

多くの細胞の増殖と成長を制御します。α1ARには、α1A、α1B、α1Dの3つのサブタイプがあり、いずれもGタンパク質のGq/11ファミリーを介してシグナル伝達を行い、サブタイプによって活性化パターンが異なります。この遺伝子はα1Bアドレナリン受容体をコードしており、NIH 3T3線維芽細胞などの細胞株に導入すると腫瘍性形質転換を誘導します。したがって、この正常な細胞遺伝子はプロトオンコゲンとして同定されています。この遺伝子は、2つのエクソンと、コード領域を分断する少なくとも20kbの単一の大きなイントロンで構成されています。[RefSeq提供、2008年7月]

研究分野

-

画像データ



アルファ 1b アドレナリン受容体ウサギモノクローナル抗体を 1:1000 で使用して、HeLa、PC-3 細胞からの抽出物のウエスタン ブロット分析を行いました。